



みつぎっ子

学校教育目標

「やさしく かしく たくましく」

〒400-0048 山梨県甲府市貢川本町8-1 TEL (055) 222-2408 FAX (055) 222-2407 文責：校長 伊東

コロナ禍でも、実り多き2学期を終えることができました

8月27日(金)の始業式をスタートに、84日間の実り多き2学期を、本日、無事終えることができました。これもひとえに、保護者、そして貢川地区の方々のご理解とご協力のおかげであると、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年も残り1週間。昨年度同様、学校現場はコロナウイルス感染症への対応に追われた1年間となりました。しかし、「このコロナ禍でも、どうにかすればできるだろう。」と考え、またその方策を模索する中で、少しずつではありましたが、皆様にご協力をいただきながら、様々な学校行事を、何とか無事に終えることができました。昨年度、1泊2日に縮小した修学旅行は、目的地を東京・神奈川方面から長野方面に変更し、2泊3日に戻すことができました。昨年度、実施することができなかった土曜参観は、参観していただく時間帯を3ブロックに分け、更にリモート参観という形にすることで実施することができました。昨年度、自校開催だった陸上運動記録測定会は、市内の学校を午前と午後に分けることで実施することができました。

さて、これまで取り組まれてきた学校行事には、様々な教育的な意味が含まれているのですが、コロナ禍によって、私たちは、学校行事が大切にすべきものは「形」でも「見栄え、でき栄え」でもなく、「子供の学びや育ち」であることにも気がつきました。例えば、これまで、行事に追われることにより、子供たちが落ち着いて学習できなかったことがあったのではないかと感じます。この点を振り返ってみると、むしろコロナ禍となったこの2年間は、学校行事やそのための練習に費やす時間が少なくなり、落ち着いて学習に取り組めるようになったのではないかと思います。これから3学期に向け、学校は、今年一年間の教育活動を全職員で振り返り、来年度の教育課程にその反省すべき点を反映していきます。

これまで、毎年のように学校行事等のスリム化に取り組んできましたが、更に新たな視点で見直しを行っていくことが大切であると考えます。そしてこれからは、新しい社会生活「ニューノーマル」を超えて、持続可能な新しい学校の姿「学校ニューノーマル」を創り上げていかなければならないのだらうと思います。

進む教育改革・・・そして、不易と流行

道徳が、特別の教科 道徳として教科化され、外国語も続いて教科化されることに。そして今年、GIGA開きの年となりました。子供たち一人一人に端末が配布され、先日は、実際に端末の持ち帰りテストも実施しました。正に教育改革が着実に進んでいます。12月22日のニュースによると、公立小学校5、6年生での教科担任制を拡大するため、4年間で3800人程度の教員を増やすとのことです。高学年の教科担任制の拡大には、高学年から内容が難しくなる教科の理解度を高めると同時に、教員の負担軽減を図るねらいがあるようです。現在、5、6年生の学級担任は、平均週25コマほどの授業を受け持っていますが、これにより、週あたり3.5コマ程度減らす効果が見込めるようです。

教育においては、どんなに社会が変化しようとも、「時代を超えて変わらない価値のあるもの」(不易)があります。豊かな人間性、正義感や公正さを重んじる心、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心、人権を尊重する心、自然を愛する心など、こうしたものを子供たちに培うことは、いつの時代においても大切にされなければならないことです。しかし、また、教育は、同時に社会の変化に無関心であってはなりません。「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」(流

行)に柔軟に対応していくこともまた、教育に課せられた課題です。

急激に変化していくと考えられる社会の中であって、これからの社会の変化を展望しつつ、教育について絶えずその在り方を見直し、改めるべきは、勇気を持って速やかに改めていくことが大切なのだと、改めて感じます。

改めて地震に備えましょう

12月3日、山梨県東部・富士五湖を震源とした3回の地震が起きてから、トカラ列島近海を震源とした地震が多発していました。調べてみると、トカラ列島近海を震源とする地震は、これまでに震度1以上の地震を300回以上観測しているようです。現在は、収束に向かっているとのことですが、それでも、気になるのは事実です。12月21日にも、太平洋の日本海溝や千島海溝で巨大地震が発生した場合の被害想定が発表されました。その発表によると、地震の規模を表すマグニチュードは9.3。これは9.0を記録した東日本大震災の、およそ2.8倍のエネルギーにあたるそうです。津波による被害も甚大で、地震発生からおよそ20分で、あっという間に町を飲み込んでいくとのこと。そして、北海道東部では、広い範囲にわたって20メートル以上の津波が押し寄せるようです。更に、この巨大地震の影響は、当然のことながら、東北・関東にも及び、私たちが住んでいる山梨への影響も心配されます。

過日、学校より、改訂版「貢川小学校緊急対応マニュアル」の配布、及び、あんしんメールによる「大地震安否確認テストメール」を配信させていただいたところです。マニュアルは、『南海トラフ地震に関する情報が発令されたとき』及び『大地震発生時』に、「児童」が、「学校にいるとき」「登下校中」「家にいるとき」、「児童」「保護者」「学校」のそれぞれが取るべき行動が記載されています。安否確認メールは、主に、『登校中や下校中等、学校及び自宅外に児童がいる時間帯に大地震が発生した場合』、必要に応じて、児童の安否を確認するために配信します。

あくまでも机上におけるシミュレーションにもとづいての計画ですので、実際には、マニュアル通りにいかないことも考えられます。学校とご家庭が、「大地震に対する基本」だけは、しっかりと共通認識しておきたいと考えています。なお、明日からの冬季休業を利用して、今一度、登下校時等に大地震に遭遇した場合の避難場所を、家族みんなを確認をしておいてください。

私事になりますが、先日、「非常時の持ち物」と「非常食」の点検を行ったのですが、改善すべき点がいくつも見つかりました。持ち出し袋に入れておいたはずの乾電池が無くなっていました。原因は数ヶ月前、電池切れで点火しなくなったガスコンロ用に使ってしまったからです。飲み水用のペットボトルは、まだ1年間の賞味期限が残っていたものの、カップ麺については、1年半以上も前に賞味期限が切れていました。さすがに驚いてしまいましたが、改めて地震への備えについて考える良い機会となりました。

どうぞ皆さんも、改めて子供たちと一緒に、地震への備えを！

『1月の行事予定』です

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| ・11日(火):3学期始業式 | ・25日(火):甲教協(6校時カット) |
| ・12日(水):給食開始 | 身体測定3・4年 |
| ・14日(金):ふれあいタイム(役員認証・表彰) | ・26日(水):代表委員会 身体測定1・2年 |
| ・17日(月):きずなの日 委員会活動 | 中学生の6年生訪問 |
| ・19日(水):地区別児童会(登校班編制) | ・28日(金):新入児保護者説明会 |
| ・20日(木):きずなの日 | ・31日(月):きずなの日 |
| ・24日(月):身体測定5・6年 | |



それでは、良いお年をお迎えください。

学校長 伊東